



JSCA千葉ニュース(春)

発行 一般社団法人 日本建築構造技術者協会 JSCA千葉(広報・会員委員会)

〒261-0821 千葉市中央区若草1-2-35 (株)向後構造設計事務所 内 TEL043-225-2181 FAX 043-264-3046

JSCA千葉 代表 挨拶

(株)向後構造設計事務所 向後 勝弘

このたび熊本県地方で発生した大規模な地震により、犠牲となられた方々のご冥福をお祈りするとともに、避難生活をなさっている方々が早く元の生活に戻れるよう、お祈り申し上げます。



JSCA千葉

私も6月でJSCA千葉代表となって2年経過しましたが、このたびの総会で再任され、あと2年代表を務めることとなりました。代表就任に当たり、私は会員へのサービスと社会貢献活動を目標に掲げてきました。この2年を振り返ると、私たち構造設計技術者、特にJSCA千葉の会員にとって、大きな環境の変化がありました。その一つが耐震診断耐震改修設計業務の減少です。文部科学省が力を入れていた公立学校施設の耐震化を平成27年度までに完了させるという目標がほぼ達成され、公共建築の耐震診断耐震改修設計の発注が減少したこと、民間建築物の耐震診断耐震改修はまだまだ進んでいないためです。もう一つは構造計算適合判定機関の民間開放で、これに

よって、千葉県建設技術センターへの判定員の派遣がなくなりました。いずれもJSCA千葉として力を入れてきた活動です。したがって、活動の基本方針に変更はないものの、今後の活動計画は修正が必要となってきました。耐震診断耐震改修については、民間建築物の耐震化推進を目標に、啓蒙活動や、耐震改修促進法改正に伴い開設した相談窓口も引き続き継続していきます。そして、これら活動を通して、安全・安心な街づくりに向けて活動していきます。

いずれにしても、今までの忙しさからは解放され、少し時間が作れるようになってきました。これを機会に、会員の研修活動にも力を注いでゆきたいと考えています。特に、会員事務所の若手の所員による自主的な勉強会が軌道に乗って参りました。会員も次第に高齢化しており、次世代を担う若手構造設計者の育成は喫緊の課題です。勉強会を通して、若手所員同士の懇親も深まり、頼もしい限りです。今後ともこの活動にも力を注いでいきます。今後ともJSCA千葉の活動に応援のほどよろしくお願ひします。

JSCA千葉役員会組織一覧

代表役員	★ 担当三役	◎ 委員長	総務・会計委員会	広報・会員委員会	兼田 毅
代表 向後 勝弘	技術・研修委員会	専門委員会	★ 佐藤 暢彦	★ 佐藤 暢彦	秋山 秀之
副代表 市原 嗣久	★ 市原 嗣久	★ 向後 勝弘	◎ 筈谷 修作	◎ 西澤 博文	依田 実
〃 佐藤 暢彦 (会計)	◎ 加藤 義道	◎ 飯島 宏治	梶山 誠治	明智 孝夫	関 和弘
監事 飯島 宏治	長内 光雄	木原 碩美	榊原 裕繁	高橋 悟	豊岡 重人
園部 隆夫	竹下 章治	真崎 雄一	園部 隆夫	齋藤 利彦	高橋 千絵
顧問 富島 誠司	柴田 孝行	竹下 章治	ホーム・エージ委員会	遠竹二三夫	園部 真弓
〃 真崎 雄一	涌井 栄治		★ 佐藤 暢彦	兼田 毅	小川 夏香
〃 木原 碩美	貞弘 清英		◎ 貞弘 清英	若手研修推進WG	山下 友
	西原 幹夫		加藤 義道	◎ 西原 幹夫	阿部裕太郎

JSCA千葉 2016新年会 記念講演会、懇親会の報告

高橋構造研究所 高橋 悟

節分を翌日に控えた平成28年2月2日(火)JSCA千葉平成28年 新年会が、三井ガーデンホテル千葉で開催されました。

午後3時から5時までは、記念講演会として、(有)山辺構造設計事務所山辺豊彦氏を講師に迎え、「地域材を活用した中大規模木造建築物の設計事例」というタイトルでご講演をいただきました。

講演会は、行政関係、関連団体、JSCA千葉会員、賛助会員の方々140名を超える出席者の中、JSCA千葉副代表 市原嗣久氏の司会により始まりました。

講演に先立ち、JSCA千葉代表の向後勝弘氏より、多数の参加への感謝に続き、昨年の免震・杭施工に関する問題があった中で、新国立競技場の屋根を木造にする提言もあり、タイムリーな内容の講演会となったこと。講師に依頼した際「後輩のため喜んで講演を引き受ける」というエピソードが披露されました。

向後代表からの紹介に加え、JSCA千葉役員の貞弘清英氏から、山辺氏がJSCA本部理事で木構造の出版物も多い方との紹介がありました。

山辺氏の講演は、「大工塾」の説明から始まりました。自分たちの勘だけで建物の図面を作図しているのか、という問題意識を持つ大工さん達が集まり始めた活動で、そこに山辺氏が構造専門家として参加し地盤調査の実体験から基礎形式の選定、伝統的な継手の強度を実験で検証し継手の設置位置を決めるなどいろいろな実体験・実物実験の結果を強度式にフィードバックし、根拠の分かる大工さん150名を育成し、その大工さん達が学んだ技術を全国に伝える活動であることの説明でした。

講演会は次に、山辺氏がこれまで手がけられた木造建築物の説明へと進みます。まず、従来の大断面木造建築とは違う観点から設計した木造の幼稚園の例。4mの地域材を活用し、和小屋より安い平行弦トラスとした洋小屋の例。もう少し大きいスパンの場合は、接着剤を利用し重ね梁とするが、ここでも実大実験により耐力を確認しながら仕口などを決めていく設計手順の説明。

講演会講師
山辺豊彦氏

記念講演会

ここでは越し屋根形状のトラスの例が説明されましたが、斜材は圧縮側に入れると仕口が楽になるそうです。

現状の問題点はJAS製材で、構造材として利用する場合、ヤング係数を実測し、含水率を20%以下としなければ、目視による等級は意味がないとのことでした。

次に紹介されたのは、様々な架構形式を利用した学校の例。方杖を利用した勾配屋根の学年棟・シングルレイヤートラスの音楽棟・ハイブリッド梁のランチルーム・合わせ梁のメディアラウンジ・車輪構造の多目的ホール・タイバー付き扁平アーチ梁のアリーナが紹介されました。

次に、持ち送り重ね梁・落とし込み板壁・野地板斜め張りなど利用の学校の例。製材床板斜め張りでは、実験により構造用合板の床倍率の半分程度を確保出来ることなどを検証しながら設計する例を紹介して頂きました。

体育館の例では、持ち送り重ね梁によるアーチの説明がありましたが、講演後の質疑応答では、木構造の設計基準にあるような変形増大係数2では足りない。経年により仕口部に隙間が生じることが影響するもので、この保守管理は設計条件として設計図に明記しておくべきという説明がありました。

普段、木造を手がけない参加者には有意義な内容だったと思います。(3面に続く)

(2面より続き) 講演会終了後、会場を移動し引き続き午後7時30分まで懇親会が開催されました。

懇親会には講演会同様140名を超える出席者があり、JSCA千葉副代表の佐藤暢彦氏の司会により始まりました。

向後勝弘代表より、年始の挨拶の後、昨年の構造関係の不祥事を肝に銘じて心を引き締めるため、恒例のライブステージを中止したこと県内の耐震改修がほぼ終了し、構造計算適合性判定の制度改正の中我々は建物の安全安心の社会奉仕を目指しましょうとの決意表明がありました。

JSCA本部役員の山辺豊彦氏からは、年始の挨拶の後、本部から講演のついでにJSCA千葉の様子を視察してくるよう言われて来たがJSCA東京よりも地域に密着しているとの評価を頂きました。

また、JSCA会員の高齢化が進み、55才以上60%、60才以上45%となっているという現実を説明されました。

千葉県県土整備部施設改修課赤坂恭男課長からは、JSCA千葉の千葉県建築行政への協力に感謝の言葉を頂きました。今後は未改修の建物と民間建物に対し千葉県耐震改修促進計画を進める予定であり、協

力の要請がありました。

千葉市都市局建築部池田典夫部長からは、千葉市公共施設の耐震改修への協力に感謝の言葉を頂き、千葉県同様千葉市耐震改修促進計画を進める予定で、協力の要請がありました。

続いて、千葉県建築士事務所協会宍倉義昭副会長より乾杯の発声を頂き、各々構造の話や近況報告をしながら過ごした後、園部監事より賛助会員は杭施工会社が過半を占める中、昨年の杭打ちデータ問題で元気がなくなっている。また、演奏予定であった真崎雄一顧問から自粛の連絡があったことへの感謝の後、賛助会員を元気づける意味でも今後も我々JSCA千葉と杭施工会社と一緒に力を合わせて頑張りましょう。「良い品質の建物造るぞ。がんばるぞ。」全員が起立し「おー！！」の唱和により、会場は一層盛り上がりを見せました。

これを受け、(株)角藤 平瀬慎一郎賛助会員の司会により賛助会員の紹介とこれからの意気込みを含めた挨拶がありました。

最後に市原嗣久副代表の三本締めで、懇親会は盛大の内に閉会となりました。



向後JSCA千葉代表挨拶



県土整備部施設改修課



懇親会

JSCA千葉役員会議事録抜粋(答谷)

平成27年度

- 第1回(平成27年4月20日)
- (1) JSCA千葉第18回(平成27年度)通常総会について
 - (2) 太平洋セメントの工場(熊谷工場)見学について
 - (3) 若手勉強会について
- 第2回(平成27年5月18日)
- (1) JSCA千葉第18回(平成27年度)通常総会について
 - (2) 太平洋セメントの工場(熊谷工場)見学について
 - (3) 若手勉強会について

- 第3回(平成27年6月4日)
- (1) 総会決算及び会計報告
 - (2) 研修親睦旅行について
 - (3) 千葉県耐震判定協議会の運営について
- 第4回(平成27年7月28日)
- (1) 若手勉強会について
 - (2) 研修親睦旅行について
 - (3) 千葉県耐震判定協議会の運営について

- 第5回(平成26年9月9日)
- (1) 研修親睦旅行について
 - (2) JSCA千葉新年会について

- 第6回(平成27年10月19日)
- (1) 研修親睦旅行について
 - (2) JSCA千葉新年会について

- 第7回(平成27年11月9日)
- (1) JSCA千葉新年会について
 - (2) 2015年版「技術基準」DVD講習会について
 - (3) JSCA千葉第19回(平成28年度)通常総会日程について

- 第8回(平成27年12月15日)
- (1) 2015年版「技術基準」DVD講習会について
 - (2) JSCA千葉ニュース記事について

- 第9回(平成28年1月18日)
- (1) 2015年版「技術基準」DVD講習会について
 - (2) JSCA千葉新年会について

- 第10回(平成28年2月2日)
- (1) JSCA千葉ニュース記事について

- 第11回(平成28年3月8日)
- (1) JSCA千葉第19回(平成28年度)通常総会講師について
 - (2) 構造設計に関わる建築基準の問題点と法制度について
 - (3) 平成28年度研修親睦旅行日程について

「2015年版 建築物の構造関係技術基準解説書」

DVDによる講習会を終えての感想

技術研修委員会委員長 加藤義道

2月18日(木)に建築会館会議室におきまして首記の講習会を実施致しました。

この度の講習会は、JSCA本部より全国展開する旨、各サテライトに開催要請があり実施したものです。

そして、昨年(2015年)の東京会場での講習会に参加出来なかった方々を対象に行ったものでもあります。幸い千葉サテライトでの参加者は、36名を数える盛況な講習会とすることが出来ました。

さて、今回の講習会での改定概要は、以下の通りです。

1. 改定の経緯

2007年版の初版刊行以降、約8年間の間に制定・改正された構造関係規定の内容とその解説を盛り込むことのほか、建築基準整備促進事業の成果や、日本建築学会の規準・指針類の改訂を含む最近の知見を踏まえたものとするなどを目的に行ったものである。

2. 改訂の概要

2015年6月に施行された建築基準法令の改正のうち、構造計算適合性判定の手続き及び対象の見直し、法第38条認定の復活、エキスパンション等を介して接続



加藤義道
技術研修委員会
委員長

される場合の取り扱いの変更等の、構造関係規定に関連する内容については反映され、その解説がなされている。

以下、鉄筋コンクリート造、鉄骨造、木造、その他の構造・共通事項それぞれについて留意点が記述されています。

この度の講習会は朝10時30分より夕方5時20分までの長丁場のDVD講習でしたが、皆様が集中力を発揮し、真剣に取り組んでいる姿が印象的でした。

今後はさらにこの研修内容を日頃の業務に生かして頂けるものと期待しています。

また、今後の活動に関してのアンケートを多数お寄せ頂きまして、誠にありがとうございます。色々な要望やユニークな意見等が見られまして、研修として行わなければならないことがまだまだ有ると改めて感じました。

今後の活動に生かして生きたいと思っています。

講習会終了後には、有志による懇親会を行いました。多数の参加を頂きまして有意義で楽しいひと時を過ごすことができました。今後も懇親の機会を出来るだけ設けて参りますので、ご参加のほどよろしくお願い致します。

ヒロ・コラム No1

50年ぶりにコメディアン「せんだみつお」にH大学付属第一高校の同窓会で会った。JR代々木駅のレストランに70名程集り恩師と酒を交わし、昔ばなしに花を咲かせた。

「せんだ君、久しぶりだね！」と声を掛けたら

「お前、誰だ？」 そうか、俺はテレビでよく見ていたが、せんだは50年ぶり、分かるはずないよな！

本名 中野光雄 樺太真岡郡生まれ 高校卒業後、駒沢大学経済学部へ

「ナハッ、ナハ！ ナハ！」などのギャグで来ていた同窓生みんなを笑わせた。

以前、70年代「ぎんざNOW！」の司会者をしていたせんだ

最近、干され
気味 せんだ
がんばれ！！

(ひろふみ)



編集後記

熊本地震の発生から1カ月以上が経過し、いまだに多くの人々が避難所生活をされている。

熊本県内の指定避難所70か所が被害を受け、閉鎖や一

部閉鎖の措置が取られており、このうち約9割が建物本体の耐震化に比べて対策が遅れがちな「非構造部材」の損傷が原因であった。我々も非構造部材の耐震化について、行政とともに見直す必要がある。 (明智)